

# 北海道開発局のバリアフリーの取組 について

---





北海道開発局は、国土交通省の地方支分部局として設置され、北海道総合開発計画推進のため、北海道における河川、道路、港湾、空港、農業基盤、漁港といった国の基幹的な社会資本の整備・管理を行うほか、都市・住宅行政に係る地方公共団体への支援、建設業・不動産業等への指導・監督、官庁営繕などを行う総合行政機関です。





## 道の駅おとふけ 施設全体におけるバリアフリー

- ・令和4年4月15日にリニューアルオープンした施設
- ・多様な利用者に配慮したトイレ整備などバリアフリー対策を実施



### 車椅子やベビーカー利用者への配慮

- ・入口を自動扉にし、施設内を含め床の段差を解消

### 様々な利用者を想定したトイレの整備

- ・男性・女性、身障者用トイレそれぞれにおむつ替えシートを設置
- ・オストメイト対応、フィッティングボードを備えた多機能トイレを完備
- ・手洗い器や各ブース内に手すりを設置



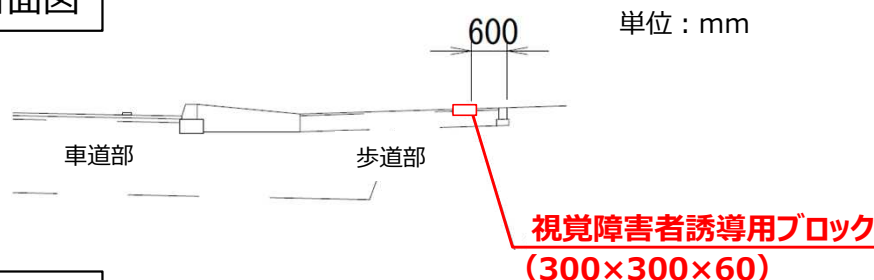
※ 音更町と北海道開発局が、基本設計の段階から施設内容について共有を図ることで、施設内外のバリアフリー化を実施

## 国道5号 発寒地区 歩道整備（札幌市）

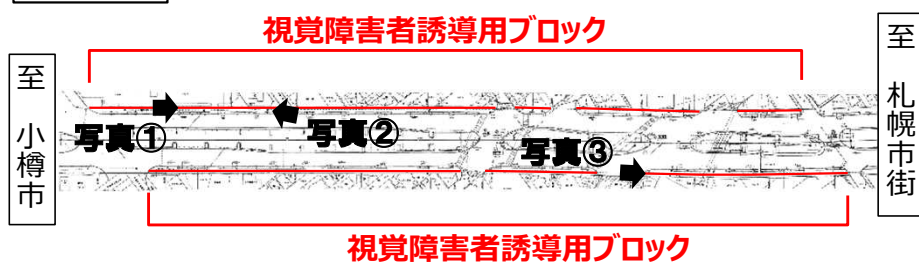
箇所図



断面図



平面図



①整備前



②整備後



①整備後



③整備後



### <対策メニュー>

- 視覚障害者誘導用ブロックの新設

### <整備効果>

- 視覚障害者及び高齢者の移動上の利便性・安全性が向上
- ・ 視覚障害者誘導用ブロックを新設し、区間で連続した誘導標示を整備することで、視覚障害者の移動上の安全性向上に寄与



## 帯広第2地方合同庁舎における 施設利用者等参加型ユニバーサルデザインレビューの取組



帯広第2地方合同庁舎 2018年11月完成

ユニバーサルデザイン(UD)レビューとは  
ユニバーサルデザインの視点に立ったニーズの把握、解決策の検討、  
評価、フィードバック(以降の施設整備への評価結果の反映)といっ  
た一連の作業を施設整備の各段階(企画・設計・施工・フォローアッ  
プ段階等)において繰り返し行うことで、常に前の段階よりも高い水  
準を達成しようとするスパイラルアップの取組みのことです。

完成した合同庁舎において、令和4年度に利用者(モニ  
ター)の方を対象としてUDレビュー(診断)を実施しました。



食堂の使いやすさ



屋外通路の移動しやすさ



案内サインの見やすさ

車椅子使用者、高齢者、視覚障がい者、乳幼児連れ等から様々な意見を聞き取り、施設全般(廊下、階段、一般・多機能トイレ、食堂)評価が高かったが、一部、サイン表示や舗装の段差等で改善意見があり、今後の施設整備に反映することとなりました。